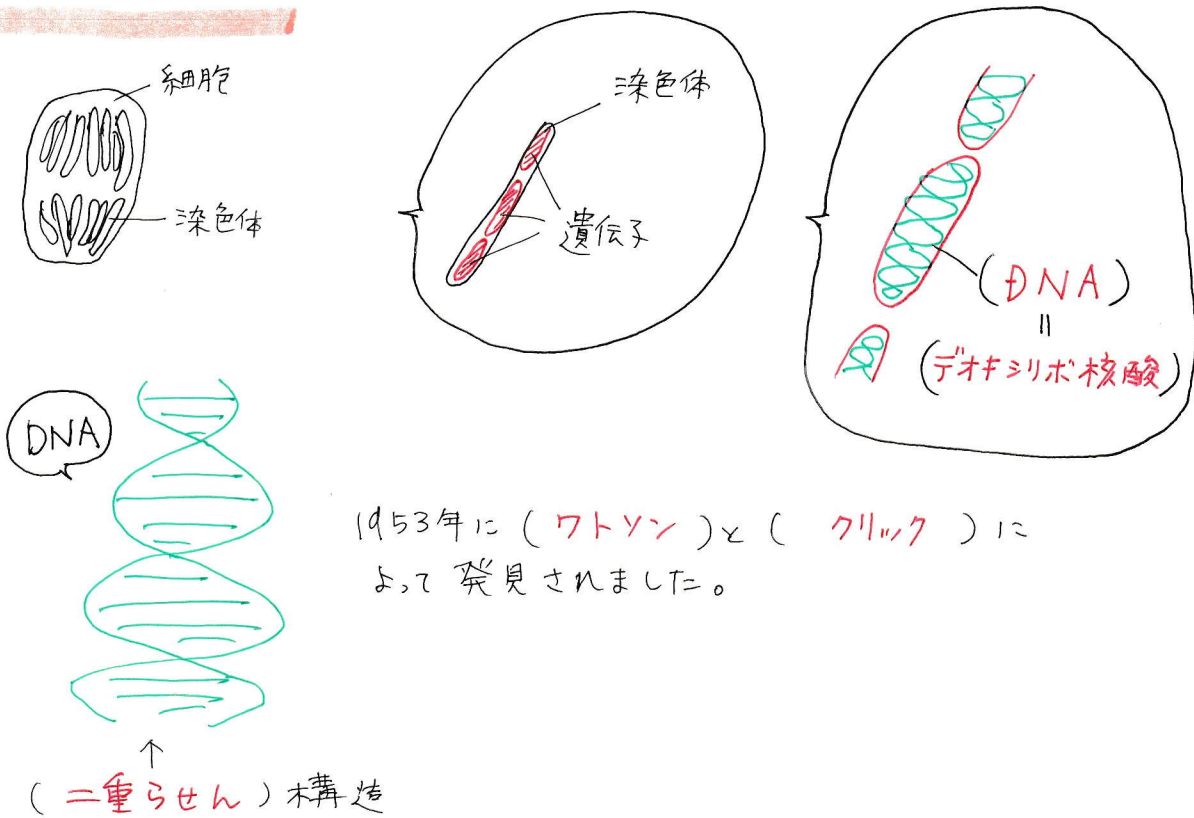


3. 遺伝子の本体とその活用

遺伝子の本体



1953年に (ワトソン) と (クリック) によって発見されました。

遺伝子は (染色体) に存在する。

その本体は (DNA … デオキシリボ核酸) という物質であり (二重らせん) 構造をしている。

DNA は 親から子へ、子から孫へと受けつかる。

しかしまれに、染色体数や DNA が変化して、今までなかった形質が現れることがある。このような変化を (突然変異) という。